

令和4年度大学・学生関連施策について

資料 4

No.	分野	事業名	事業趣旨・目的
1		学生支援に取り組む大学応援事業	コロナ禍における原油価格・物価高騰の影響を受け、大学・学生を取り巻く状況が厳しくなる中、学生支援に取り組む大学を応援・後押しするため、各大学が実施・充実する取組に対して補助を行う。
2		ふるさと納税を活用した大学における地域連携等推進事業	「大学のまち京都・学生のまち京都」の魅力向上に向け、ふるさと納税を活用し、大学・学生と地域の連携強化等を図るため、本市と取組に御賛同いただいた大学及び短期大学との間で、「ふるさと納税を活用した大学・学生と地域の連携強化等に関する協定を締結。連携協定に基づき本市が収入するふるさと納税寄付金を活用し、各大学等において実施する地域貢献事業や学生のまちづくり活動等に要する経費を助成する。
3		大学地域連携創造・支援事業(学まちコラボ事業)	京都のまちの活性化に向けて、大学・学生と地域住民との連携・協働を更に広げるとともに、地域に貢献しながら学生が学ぶ機会を創出するため、大学・学生と地域が連携・協働して実施する京都のまちづくりや地域活性化に資する事業を広く公募し、支援金を交付する。
4		The Future of KYOTO AWARD	「行財政改革計画」の「都市の成長戦略」に掲げる、学生の市内定着、市内企業就職に向け、地域企業と学生が連携して地域課題解決の取組を実施する。 ※ 賛同団体として事業参画
5	地域・企業連携、学生団体・留学生支援	「大学のまち京都・学生のまち京都」アプリKYO-DENT (キョーデント)の活用	京都市や(公財)大学コンソーシアム京都、地域、企業等の多様な主体による、様々な取組や学生向けの各種情報を、学生に直接かつ確実に届けることで、「京都でしか味わえない学生生活の実現」、「京都の魅力を感じた学生の就職を含めた地域への定着」、「京都での学生生活のブランド化による新たな学生の獲得」を目指し、アプリ利用者である京都の学生との協働により、「大学のまち京都・学生のまち京都」公式アプリKYO-DENT (キョーデント)」を開発し、令和2年3月から配信している。
6		京都学生祭典実行委員会の活動支援	学生の主体的な活動を支援することにより、学生の意欲を喚起して京都学生祭典を成功へと導き、学生の成長の更なる支援や、地域への定着の促進に加え、学生の活動を活発化させ、学生の持つエネルギーによって京都のまちの活性化を図り、「大学のまち京都・学生のまち京都」の魅力向上に繋げる。
7		学生が発信！「大学のまち京都」プロモーション事業(京都学生広報部)	18歳人口が長期的に減少し、大学間競争の一層の激化が予想される中であって、将来大学生となる全国の中高生に「京都の大学で学びたい」「京都で学生生活を送りたい」と思っていたため、京都学生広報部員が、大学生自らの視点で企画・取材・撮影・記事作成した「中高生に伝えたい京都のリアルな情報」を、ウェブサイト(コトカレ)やSNS等で発信するとともに、本市や大学コンソーシアム京都、市内大学や企業等と連携し、「大学のまち京都・学生のまち京都」のプロモーションに資する各種イベントを企画、実施している。
8		輝く学生応援プロジェクト	学生による社会貢献活動や京都のまちの活性化につながる活動等に対し、活動場所の提供、市民活動経験のあるコーディネーターによる助言などの総合的支援を行うことにより、学生が持つエネルギーを京都のまちの活性化に繋げる。

No.	分野	事業名	事業趣旨・目的
9	地域・企業連携、 学生団体・留学生 支援	留学生受入環境整備事業	来日直後の留学生にとって煩雑になりがちな行政手続き等に関する情報提供等を行うことによって、よりスムーズに日本での生活をスタートできるよう支援する。また、留学生が京都で生活する中で、京都ならではの文化芸術等に親しみ、京都ファンになるきっかけをつくる。
10		地域企業と連携した次代の京都の担い手育成事業	京都で学ぶ学生(留学生を含む)と京都の地域企業が早い段階で接点を持ち、相互理解を深める場の創出を通じ、京都での就職・定住促進につなげるため、京都で学ぶ多様な学生を対象に、公募による学生がチームを組み、京都企業と連携した社会課題解決などに取り組むプロジェクトを推進する。
11		留学生スタディ京都ネットワーク	大学、日本語学校、専修学校、経済界、京都府と共に、「留学生スタディ京都ネットワーク」を設立し、留学生の誘致・支援及び受入環境の整備をオール京都で推進する。
12		学生とつくるまちの未来プロジェクト・ワークショップ	学生の自由で柔軟な発想を生かし、学生自身が京都の魅力を京都の学生に向けて発信し、京都で学ぶ学生の学生生活を充実させるとともに、京都への愛着の醸成や定住につなげる。 ※ 京都市、東急不動産ホールディングス、学生情報センターとの連携協定に基づくワークショップ
13		京都から発信する政策研究交流大会	都市が抱える問題・課題を見つけ、それを解決するための研究を行う学生が日頃の研究成果を発表し、大学やゼミの枠を超えた交流を深めるとともに、地域社会に対する政策提案・情報発信の場となることを目的として、2005年度から開催している。 政策系学部教員で構成する「都市政策研究推進委員会」が中心となり、企画・審査のほか、学生実行委員会の活動への助言等を行っている。
14		第25回京都国際学生映画祭	京都国際学生映画祭は、学生実行委員会が運営する日本最大規模の国際学生映画祭。文化芸術都市であり、「学生のまち」でもある京都で、学生が制作した自主映画を世界各地より集め、実行委員が審査、上映する機会を作り出し、未来の映画人を担う人材・才能の発掘を目的としている。実行委員が国内外を問わず広く学生作家の映像作品をコンペ形式で募集し、ノミネートされた作品を上映する本映画祭の企画や運営、PRを担っている。2022年度は2023年2月3～5日対面、2月10日～19日オンライン配信のハイブリッド開催)
15	山科団地活性化イベント	第2期山科区基本計画においては、「地域のつながりを強める」ことが基本施策として掲げられているなかで、「自治の仕組みを強化する」取組として、地域コミュニティによる自治活動の展開を推進するとされ、「市民活動を活発にする」取組として、大学・地域・行政の連携強化が挙げられている。行政、大学、地域住民のつながりを強め、地域課題を解決していく土台を作るため、京都橘大学健康科学部作業療法学科、山階学区及び西野学区自治会連合会との共催で、健康イベントを実施する。	

No.	分野	事業名	事業趣旨・目的
16	環境	家具・家電等のリユースの促進事業	持続可能な循環型社会の実現に向けて、ものの「所有」から「共有」へとライフスタイルの転換を目指す「家具・家電のサブスクリプションサービスの利用促進」を、株式会社クラスと連携して実施する。本事業により、家具・家電の共有を促進し、必要性や耐用年数に応じた適切な期間使用することで、ごみ減量だけでなく、二酸化炭素排出量の削減へとつなげる。
17		ごみ減量・分別普及啓発	市内の大学生に対する2Rと分別・リサイクルの啓発をより効果的に実施することを目的とし、入学直後の学生(留学生含む)向けガイダンス等で使用できる啓発チラシや動画DVDを市内の大学等に配布(紙・電子データ)する。
18	文化・くらし	若手芸術家等の居住・制作・発表の場づくり事業	京都市内の芸術系大学の学生が卒業後、芸術家として活動し続けることができる環境を整え、居住・制作・発表を支援するため、芸術系大学生を含む若手芸術家等からの様々な相談に対応するほか、芸術家に適した空き家の紹介、専門家のネットワークによる発表活動の支援等を行っている。
19		京都学生アートオークション	大学コンソーシアム京都に加盟する美術系大学の学生のキャリア支援を目的としたアートオークションを開催し京都の学生の高いクオリティを発信するとともに、美術と経済の連関を目指す。
20		京都市キャンパス文化パートナーズ制度	学生の経済的な負担の軽減(文化施設の入場料の優待)を図ることなどで、学生が京都が有する多彩な文化に触れ、学ぶことを容易にし、文化芸術に対する理解を深め、学生生活を豊かなものとする。
21		嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学による京都市動物園イベント企画及び広報物デザイン	京都市動物園の利用促進のため、本園と協定を結ぶ嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学との連携授業の一環として、秋の夜間開園におけるイベント「妖怪ナイト at the zoo 2022」を企画、運営する。
22		秋の夜間開園「えこにずうむ」	京都市動物園の利用促進のため、本園と協定を結ぶ平安女学院大学との連携授業の一環として、秋の夜間開園におけるイベント「えこにずうむ」を企画、運営する。
23		学生防犯ボランティア「ロックモンキーズ」に対する支援	学生防犯活動を推進・支援することで、学生による防犯活動の活性化を図るため、京都府警察が実施する学生防犯ボランティア「ロックモンキーズ」が行う防犯意識の高揚のための防犯教室、犯罪予防のための広報啓発活動、防犯パトロールなどの活動等に要する経費について補助金を交付する。
24		京都市内各大学との協同による客引き行為等に関する条例の周知・啓発活動	客引き行為者の多数を占める大学生に対し、効果的な啓発を行うため、市内各大学にて、啓発ポスターの掲示、大学生と連携した啓発物品の配布等を実施する。

No.	分野	事業名	事業趣旨・目的
25	文化・くらし	自転車防犯対策	大学生は、自転車盗難の被害者となる割合が高いことから、被害防止を呼び掛ける広報啓発活動を実施する。
26		消費者団体、大学等と連携した消費者教育推進事業	消費者団体、大学等と連携し、大学生など若年者への消費者教育を推進することで、消費者の日々の意思決定や行動が、持続可能な社会を形成する上で大きな役割を果たすことを認識し、行動しようとする意識を持つ社会に貢献する消費者の育成を図るため、大学における消費生活講座を開講する。
27		学生宿日直制度	多くの学生が学び、住む京都の特性を活かし、京都に学ぶ学生の力を宿日直業務に活用することにより、学生の生活基盤の安定化や公務経験(職業観の確立)につなげるため、学生を宿日直職員として採用し、週1回程度、区役所・支所の閉庁時間帯に、戸籍届書の受付や庁舎の巡回などの業務に従事する。
28		京都まあぶるスペース	LGBT等の性的少数者の人(そうかもしれない人も含む)やその周囲の人たちが、気軽に集まってお話ししながら、人とつながり、交流できる「居場所」づくりのため、京都市、亀岡市、長岡京市との共催で「京都まあぶるスペース」を開催する。
29		女子学生向けセミナー	大学と協働で事業を行うことで男女共同参画の加速化を目指し、今後就職する女子学生を対象とし、様々なライフイベントを迎えても就業継続するイメージをもって職業生活をスタートできるよう、今後のキャリアデザインについて学ぶ講座を開催する。
30	産業	京都中小企業担い手確保・定着支援事業	京都の中小企業の担い手の確保や定着を支援することを目的として、「京都市わかもの就職支援センター」を拠点とし、主に大学、大学院、短大、専門学校に在籍する学生、中退者、既卒者(概ね3年以内)を対象に、京都の中小企業と学生等の交流の促進や京都の中小企業の魅力発信を実施している。
31		京都市中央市場における包括連携協定締結大学との連携事業	京都市中央市場が、包括連携協定を締結している各大学(※)等と相互に連携・協力を深め、人的、知的資源の交流及び活用を図り、それらを通じて市場、地域及び大学の活性化に寄与すること、さらには市場の取扱量の増加に繋がる取組を行うことを目的として、京都市場流通食材のブランド化事業や食育の普及啓発、各大学への出張講義事業等、様々な事業を実施する。 (※)包括連携協定を締結している大学 京都女子大学、平安女学院大学、京都府立大学、京都ノートルダム女子大学、同志社女子大学、立命館大学食マネジメント学部
32		大学生向け施設見学及び講義	大学への教育・研究活動への協力及び市場の役割についての普及啓発のため、大学生を対象とした京都市中央食肉市場の施設見学や大学への出張講義を実施する。

No.	分野	事業名	事業趣旨・目的
33	産業	京もの担い手育成事業	意欲はあるものの、営業ノウハウや経営ノウハウに乏しく事業が軌道に乗らない若手職人や事業者を対象に、コーディネーターによる支援の下、インターンシップ生として受け入れた学生や社会人等とともに若手職人や事業者が抱える課題を分析し、課題に応じたインターンシッププログラムを通じて、解決を図っている。
34		京都B&Sプログラム	少子化による生徒数の減少や修学旅行誘致の都市間競争の激化を踏まえ、修学旅行メニューの中で人気の高まっている体験学習を充実させ、現在入洛いただいている学校の継続と新規校の誘致につなげるとともに、大学生と直接触れ合う場を提供し、将来の進路先として「京都」を選んでもらうきっかけを創出するため、全国から訪れる修学旅行生に対し、京都で学ぶ大学生がガイド役となり、兄弟、姉妹(Brother&Sister)のように交流しながら、観光地や大学キャンパスを散策し京都の魅力を紹介する。 ※(株)JTB京都支店、(公財)大学コンソーシアム京都、京都観光推進協議会との共同事業。
35		グローバル拠点推進事業 (国際人財ラウンドテーブル事業)	京都市わかもの就職支援センターやジェトロ京都等と連携を行い、京都の大学生・留学生とスタートアップとの交流の場を創出するとともに、学生に市内スタートアップへの就職に対する興味や関心を高めることを目的としたミートアップイベント等を開催する。
36	保健福祉	京都市移動支援事業	単独で外出が困難な障害者及び障害児(以下「障害児者」という。)に対して、外出時における移動の支援を行うことにより、障害児者の自立と社会参加を促進し、障害福祉の増進を図る。
37		食育推進事業	健康への関心が他の世代よりも低い「若い世代」や、忙しくて時間がとりにくい「働く世代」に対する健康づくりを、大学や民間企業などとも協働・連携しながら推進するため、野菜摂取の普及啓発「そうだ、野菜とろう！キャンペーン」を実施する。
38		食の安全安心の日における食中毒予防啓発活動	学生と共に食中毒予防啓発活動を行うことにより、同年代の方に対して食の安全安心に関する意識を高めてもらう。
39	若者はぐくみ	子ども・若者総合支援	平成22年4月に施行された「子ども・若者育成支援推進法」に基づき、平成22年に「子ども・若者総合相談窓口」を開設し、仕事や学校などでの課題を抱え、社会生活を円滑に営むうえでの困難を有する子ども・若者の社会的自立に向けた総合的な支援を行う。
40		若者サポートステーション	地域のネットワークを活用して若年無業者の職業的自立を支援するため、国(厚生労働省)において平成18年度から設置を推進している「地域若者サポートステーション」として、15歳から49歳までの若年無業者を対象に窓口での相談・支援に取り組んでいる。
41		はたちを祝う記念式典・はたちプロジェクト	はたちに達した青年の門出を市民全体で祝い励ますとともに、はたちに達した青年に対して、主体的に行動する京都市民としての自覚と今後の積極的な社会参加を促し、夢と希望と活力あふれる未来の京都を創造する。

No.	分野	事業名	事業趣旨・目的
42	若者はぐくみ	青少年活動センターにおける青少年の自己成長の支援	「青少年の自己成長の支援(ユースサービス)」を基本理念に、青少年(13～30歳)が子どもから責任ある大人へと成長していくことを支援するため、市内7箇所の青少年活動センターにおいて、居場所事業、地域交流事業や担い手育成事業等を実施する。
43		成年年齢引き下げに伴う周知啓発事業	令和4年4月から、成年年齢が20歳から18歳に引き下げられたことに伴い、令和4年度中に新成人となる方に対し、成人としての自覚や責任感を促すとともに積極的な社会参加につなげるための啓発を実施する。
44		京都市児童養護施設退所児童等進学支援事業	児童養護施設退所児童等が、大学及び専門学校等に進学する場合に、以下の3点を目的として、経済的な支援を行うことにより、自立を支援(学費の一部助成)する。 ① 児童養護施設、児童心理治療施設及び母子生活支援施設入所中又は里親委託中で高校等の卒業を控えた児童が、経済的困窮を理由に進学を諦めることがないようにすること ② 大学等へ進学後、経済的困窮を理由に授業料等の学費を支払えなくなり中退することがないようにすること ③ 経済的負担を軽減することにより、学生の本分である学業により専念できる環境を整備すること
45		京都市児童養護施設等退所者修学費支給事業	児童養護施設退所児童等が、大学及び専門学校等に進学する場合に、以下の3点を目的として、経済的な支援を行うことにより、自立を支援(月2万円の修学費支給)する。 ① 児童養護施設等を退所した者で家族・親族等から援助を得られない者が進学を希望する場合に、学費等の負担を軽減することにより、進学を後押しすること ② 優れた学修成績を修め、進学の意欲が高い児童養護施設等の退所者に学修の機会を整備すること ③ 在学中も安定した給付を行うことで、修学後も経済的に困窮しないよう支援すること
46		京都市社会的養護自立支援事業	施設等入所者及び退所者に対し、退所後の自立に向けて入所中から退所後まで切れ目のない支援を実施するため、既存の支援策を活用のうえ、退所後の居住や生活費の支援、相談援助といった取組を一体的に実施し、支援の充実を図る。
47		就職フェア2022 in KYOTO	翌春、卒業予定の保育士養成校の学生等に対して、京都市内・京都府内の約100法人の民間保育園・認定こども園の魅力のアピールや採用情報の提供を行い、就職につなげることを目的とする。
48		こどもみらい館 学生のための保育者養成講座	乳幼児における保育と子育て支援のさらなる充実、発展を目指し、その将来の担い手である保育士・幼稚園教諭・保育教諭を希望している養成大学の学生を対象に、保育園(所)・幼稚園・認定こども園での保育の現状や子育て支援についての理解を深め実践力を高める講座を行う。

No.	分野	事業名	事業趣旨・目的
49	都市計画	らくなん進都整備推進協議会の大学生向けイベント	大学と連携し、学生向けにらくなん進都や会員企業のPRを行うことで、企業やらくなん進都及び協議会の知名度向上を図る。
50		田中宮市営住宅における大学連携による地域コミュニティの活性化事業	「地域コミュニティの活性化」、「大学のまち京都の推進」、「留学生支援」及び「市営住宅ストックの有効活用」など、本市の様々な施策の融合モデルを実現するため、自治会、龍谷大学及び本市が協定を結び、龍谷大学学生が田中宮市営住宅に入居し、自治会に参加することによって、持続可能な新しい住民自治の模索、及び地域コミュニティ活性化を図る。
51		醍醐中山団地における京都橘大学との連携事業	「地域コミュニティの活性化」、「大学のまち京都の推進」、「留学生支援」及び「市営住宅ストックの有効活用」など、本市の様々な施策の融合モデルを実現するため、京都橘大学が、借り上げた醍醐中山市営住宅の一部住戸に学生入居させ、住民との協働による団地の活性化を図るものである。また、一室には大学の地域連携の拠点(地域連携センター)を設置し、日常的な入居学生の支援と事業の円滑な推進を図る。
52		若者・子育て世帯の移住・定住促進事業 (多様なニーズに応える住情報発信の強化) 企業や大学等と連携した市内定住促進	学生は、就職を機にその多くが東京都や大阪府等の大都市圏に流出するが、関西の通勤圏の企業に就職した場合に、京都に留まってもらえるような取組を展開する必要がある。 そこで、住情報センターである「京安心すまいセンター」にて、京都の様々な地域の魅力や京都での暮らしの情報等についてHPやSNS等により広く発信し、大学在学中に興味のある地域や京都らしいすまいでの暮らし等、充実した大学生活を送ることにより、京都への愛着を醸成し、卒業後やUターンでの京都への定住・移住を促し、若年・子育て世帯層の定住促進につなげる。
53		「ガクシン」広告記事の掲載及び配布	大学生を読者層に持つフリーペーパー「ガクシン」に、自転車の安全利用及びルール・マナー遵守の啓発記事を掲載する。
54	地域づくり (北区)	インターンシップ(京都府立大学、佛教大学、立命館大学法学部「公共政策実習」)	学生に、北区のまちづくりに触れていただくとともに、公務員実務を体験していただくため、インターンシップを実施する。
55		北区まちづくりプラットフォーム	多くの人に北区のまちづくりに関わってもらえるよう、従来型の地域活動に加え、アフターコロナ社会をも考慮した新たなオンラインネットワークを「学び合う/SALON」、「交ざり合う/CHAT」、「伝え合う/MEDIA」をキーワードに構築する。
56		魅力発信サイト「FUNA OKA」	船岡山エリアの情報集約サイトとして、同エリアの歴史・文化やグルメ、ショッピング、イベントなど多様な記事を掲載し、船岡山エリアの多彩な魅力を、地域の方だけでなく、全国の京都を愛する方々に届けることを目的とする。

No.	分野	事業名	事業趣旨・目的
57	地域づくり (上京区)	同志社大学政策学部における地域企業及び行政との連携事業	地域企業や行政が果たしている社会的役割や取組を学生に伝え、地域経済の発展やまちづくりに関心のある人材育成・発掘等を目的とする。
58		立命館大学法学部「公共政策実習」	学生の問題関心と進路意欲の向上をはかるため、上京区役所が事務局として開催するイベントに運営スタッフとして参加してもらい、地域行政について理解を深めていただくとともに、自由なアイデアと豊かな想像力を活かしてもらうことで、楽しいイベントの開催を目指す。
59	地域づくり (左京区)	大学生を対象とした健康づくり	大学生への健康づくり普及啓発のため、コロナ禍における学生の健康課題とニーズを調査するとともに、大学祭や新入生ガイダンス等の場を活用し、調査結果に対応した健康づくり活動を実施する。
60	地域づくり (中京区)	次代につなぐ子ども・若者学びプロジェクト 「地域と企業の未来をつなぐ人財育成プログラム」	区制90周年のコンセプトの一つとした「中京区の将来のまちづくり・ひとづくりにつながる事業」を深化させ、「中京区基本計画」の円滑な推進と区制100周年を見据え、次代を担う子どもや若者を中心とした学びの事業を展開する。
61		中京区応援サイト「なかななか中京」	新型コロナウイルス感染症による影響が長引く中、感染拡大防止を第一としつつ、頑張っておられる中京区内の事業者・団体の取組などを紹介し、中京区民全体で区内の事業者等を応援していく気運を醸成するため、中京区ホームページに内に応援サイトを開設する(学生がライターとして取材)。
62	地域づくり (下京区)	下京ローカルグッドレポーター講座	地域に密着した取材活動や情報発信等の人材育成を通じて、若者の地域への愛着心の高揚を図り、持続可能な地域づくり活動を広めることを目的とし、下京いきいき市民活動センター及び下京青少年活動センターと協力して、学生や若者を対象としたローカルグッドレポーターを養成する講座を実施する。
63	地域づくり (右京区)	右京区学生選挙サポーター	平成23年に「右京区大学地域に関する連携協定」を締結した右京ゆかりの大学生により結成した団体。大学生が、選挙啓発事業や選挙出前授業を通じ若者の政治意識と投票率の向上を目指すとともに、地域まちづくりへの関心を高め、未来を担う人材の育成を図る。
64	地域づくり (醍醐支所)	だいが地域活動応援隊(まちづくりプレイヤー養成講座)	地域でのまちづくり活動を応援するため、まちづくりに興味と意欲を持つ学生・社会人、市民活動や交流事業を盛り上げる文化プログラムを提供できる個人・団体を「だいが地域活動応援隊」に登録し、地域活動の場に派遣することで、地域のまちづくり活動の更なる活性化を図る。
65	選挙	選挙啓発活動支援事業(参議院議員通常選挙)	学生団体が自ら企画、実施する選挙啓発活動を支援することにより、「大学のまち・京都」で学ぶ学生の視点から選挙の周知と投票の呼びかけを行い、若年層の投票参加意識の高揚を図る。

No.	分野	事業名	事業趣旨・目的
66	交通	KYOTO駅ナカアートプロジェクト2022	人口140万人を超える大都市であり、多くの観光客が訪れる国際観光都市でもある京都。その重要な都市装置である地下鉄の駅のイメージアップを図り、地下鉄を魅力的なものとして活性化させるため、活力ある京都のまちづくりに寄与する“大学のまち京都”ならではの取組として、地下鉄の各駅及び市バスに学生のアート作品を展開することにより、世界に誇る文化芸術都市京都の一助となる。 また、学官に産を加えた三者で連携、交流し、未来の京都を支える人材育成の機会を提供する。
67		京都産業大学の課題解決課題学習科目との連携した取組	京都産業大学の課題解決課題学習科目(O/OCF-PBL)と連携し、交通局が提示した課題に対して、学生が課題解決に向けた提案を行う。
68		平安女学院大学と連携した市バス・地下鉄沿線情報の発信	平安女学院大学の教育・研究活動の一環として、市バス・地下鉄の利用促進を図るため、沿線スポットを大学生目線で取材し、広報媒体で紹介する。
69		立命館大学映像学部との連携による市バス・地下鉄PR映像制作	立命館大学映像学部の正課授業「社会連携プログラム」と連携し、若い感性による斬新なPR動画を制作する。
70		「NISHIJIN BUS」の運行	平成29年に西陣織工業組合の記念事業「西陣呼称550年」にあわせ、京都精華大学と西陣織工業組合と協働して制作し、令和元年9月に車内の座席シート等のデザインをリニューアルして運行しているラッピングバス「NISHIJIN BUS」の運行を行う。
71		観光シーズンにおける英語・中国語による交通案内ボランティア活動	交通局では、春・秋の観光シーズンに、「おもてなしキャンペーン」として、京都駅をはじめ、主要観光地の最寄りバス停や地下鉄駅において、交通局職員がお客様への案内活動を展開している。 この取組の一環として、英語及び中国語による交通案内ボランティアの活動を実施いただくことにより、外国人観光客への対応を充実させるもの。
72		北山駅アートプロムナード	北山駅の賑わい創出と北山駅周辺の魅力の再発見、北山地域の更なる活性化を目的とし、交通局、京都市立芸術大学及び公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団が協働し、平成22年9月から、京都コンサートホールの最寄り駅である地下鉄北山駅に、演奏会等へ向かわれる人々の高揚感や駅の賑わいを創出するため、学生が制作したアート作品を展示し、「北山駅アートプロムナード」を実施する。 また、京都コンサートホールの「京都の秋 音楽祭」に合わせて、アート作品の入替え及び作品鑑賞者にお気に入りの作品と北山のスポットを投票いただく「いいね！カードの募集」を実施する。

No.	分野	事業名	事業趣旨・目的
73	教育	京都教師塾	「教師になろう」という高い志と情熱・行動力に溢れる塾生に対して、大学で身に付けた専門的知識を基盤として、京都市の教員の熱意溢れる取組や本市教育の理念、市民ぐるみの教育実践に直接触れる機会を提供し、教員として求められている資質や実践的指導力を育成する。
74		「学生ボランティア」学校サポート事業	一人一人の子どもに対するきめ細かな指導の充実をはじめ、学校教育活動の一層の活性化を図るとともに、学生が学校・幼稚園における教育活動の体験・実習を通して、自己の資質向上を図る機会とするため、教職を目指す学生や専門的知識・技能をもった学生が学級担任やクラブ活動の指導補助など各学校・幼稚園において必要とされる教育活動の支援を行う。
75		教育実習	本市立学校・幼稚園において、教職を志望する学生に対し、教諭の普通免許状の取得に必要な教職課程の必修科目である教育実習の希望者を受け入れる。
76		池坊短期大学幼児保育学科×下京図書館 ジョイントプロジェクト「絵本 to あそぼ vol. 3」	幼児保育を学ぶ学生たちと図書館が連携し、絵本の読み聞かせや楽器演奏・歌・手遊び等を通じて子どもたちとふれあう機会をつくり、子どもたちに絵本の楽しさを知ってもらう。
77		京都精華大学生のイチオシ「ティーンズにおすすめしたい本」	コロナ禍にて対面での交流が難しいため、接触を伴わずに大学の司書課程と連携し、中高生の読書推進や資料の貸出につなげる。また、大学生にも公共図書館への理解を深めてもらう。
78		京都産業大学神山天文台サポートチームによる天文学教室	宇宙に触れる機会を提供する活動の一環として、学生が主体となり、子供達の宇宙や科学に対する興味を高める講義や体験を企画・実施することで、地域の方々との交流を進めている。
79		京都精華大学 社会実践力育成プログラム	京都精華大学は文部科学省が推進している「地域と連携した教育課程の編成」などに力を入れており、2021年から開講された「社会実践力育成プログラム」で学生に協働性や社会性を身につけることを目指している。図書館の持つ情報・資料等と大学の専門的な知見を連携させ市民に提供し、大学生には京都市図書館について学習してもらい今後の社会生活に役立ててもらう。
80		京都大学の学生による大人の折り紙教室	異世代交流の場を設け、創作意欲を啓発することを目的とし、京都大学 折り紙サークルいまじろ～の学生が「大人の折り紙教室」を実施する。
81		京都教育大学の学生による人形劇	絵本を見るのとは違う視点で、物語を楽しんでもらい、子どもたちの想像力を養うとともに、図書館へ関心を高め、本好きの子どもを育てるため、京都教育大学 児童文化研究会さわらびの将来教員を希望する学生が集まり、舞台設定から人形まで手作りし、昔話や物語をBGMとセリフに合わせて、人形を操作し劇を行う。

No.	分野	事業名	事業趣旨・目的
82	教育	京都橘大学の学生による演奏会	図書と音楽のコラボレーションを通して、心を豊かにし、想像力・表現力を培い、幅広い世代に向けた読書への興味・関心を高めるため、京都橘大学 吹奏楽部の学生が、幅広い世代に馴染みのある曲を選曲し、生演奏を行う。
83		京都薬科大学の学生による演奏会	図書と音楽のコラボレーションを通して、心を豊かにし、想像力・表現力を培い、幅広い世代に向けた読書への興味・関心を高めるため、京都薬科大学 マンドリン部の学生が、幅広い世代に馴染みのある曲を選曲し、学生による司会進行に合わせて生演奏を行う。
84		醍醐中央図書館開館25周年記念事業 大人も子どもも楽しもう落語 醍醐味寄席	開館25周年を記念し、50年以上の歴史を誇る立命館大学落語研究会の方を招き、日本の古典芸能のひとつである落語を生で披露してもらい、老若男女の市民の方に日本の古典芸能のひとつである落語を楽しんでいただき、来館促進に繋げる。
85		京都外国語大学の学生による多言語おはなし会	外国語を学ぶ学生らがアイデアを出し、様々な言語での絵本の読み聞かせや、外国の文化を紹介するゲームなどを通じて、子どもたちが多言語・多文化を体験し、世界の多様性について知ってもらう。
86		「学びのパートナー」事業	不登校傾向にある子どものうち、「別室登校」の状況にある児童・生徒に対する指導や支援の充実を図るため、当該の児童・生徒の話し相手・相談相手、学習の補助者として、教職員やスクールカウンセラー等と連携しながら活動をすすめる「学びのパートナー」学生ボランティアを配置する。 児童・生徒が悩み等を気軽に話せ、ストレスを和らげるとともに、学習効果もあげながら教室に戻ることを目指す。